

第3回 佐鳴台中学校運営協議会

令和6年2月22日
13:15~15:15
会議室(2階)

校内授業参観(13:15~13:45)

開会 開会要件(委員の過半数の出席確認) 〈司会:坪井、記録:城本〉

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議長選出(出席した委員の中から互選)
- 4 前回の会議録確認
- 5 熟議〈議長: 〉
 - (1) 学校関係者評価【教務、生徒指導、校長】
 - (2) 学校運営協議会の自己評価【会長】
 - (3) 外国につながる生徒の指導・支援【教務】
 - (4) 総合的な学習の時間と地域の連携【教務】
 - (5) 夢育やらまいか事業(GS加算分)【教頭】

- 6 報告〈司会:坪井、記録:城本〉
 - ・3年生の面接練習(中野委員、中条委員)

- 7 連絡
 - (1) 制服の見直し
 - (2) 次年度の日程確認次回予定 令和6年6月14日(金) 13:30~15:30 佐鳴台中会議室

閉会

第3回 学校運営協議会出席者

学校運営協議会委員

会長	栗田 高典(くりた たかのり)	佐鳴台中元PTA会長
副会長	橋本 博行(はしもと ひろゆき)	連合自治会長
委員	中条 操 (ちゅうじょう みさお)	元自治会長
委員	嶋津 歌絵(しまづ うたえ)	佐鳴台地区民生委員 児童委員協議会会長
委員	大塚 幸作(おおつか こうさく)	保護司
委員	大屋久美子(おおや くみこ)	主任児童委員
委員	中野 昭良(なかの あきよし)	学校支援コーディネーター
委員	鈴木 秀昌(すずき ひでまさ)	PTA会長
委員	高御堂仁美(たかみどう ひとみ)	PTA副会長

オブザーバー

佐鳴台協働センター	武田貴久子(たけだ きくこ)
-----------	----------------

学校

校長	守屋謙一郎(もりや けんいちろう)
教頭	門名 由佳(もんな ゆか)
C S 担当教職員	坪井 秀臣(つばい ひでおみ)
C S ディレクター	城本 絵美(しろもと えみ)

浜松市教育委員会

教育総務課	鈴木 陽子(すずき ようこ)
-------	----------------

令和5年度 第2回 佐鳴台中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月20日（金） 13時15分から15時15分
- 2 開催場所 佐鳴台中学校 会議室
- 3 出席委員 栗田 高典 橋本 博行 中条 操 大塚 幸作
大屋 久美子 鈴木 秀昌 高御堂 仁美
中野 昭良
- 4 欠席委員 嶋津 歌絵
- 5 学 校 守屋 謙一郎（校長） 門名 由佳（教頭）
坪井 秀臣（教務） 三浦 優介（生徒指導）
城本 絵美（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議記録作成者 CSディレクター 城本 絵美
- 9 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、中条委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
 - (1) いじめ防止基本方針に基づく取組み
 - (2) 前期学校生活アンケート結果についての検討
 - (3) 全国学力・学習状況調査の結果
 - (4) 外国につながる生徒の『放課後勉強会』の実施状況
- 11 会議記録
 - (1) いじめ防止基本方針に基づく取組みについて
いじめ防止基本方針について説明（生徒指導）
 - ・ヤングケアラーについて、小学校と情報も共有しているのか教えてほしい。（中条委員）
→SSW 連携をとりながら、外部機関と対応を進めている。本人や保護者にも聞き取りをしながら対応している。小学校の情報は共有していない。（生徒指導）
 - ・気になる生徒や不登校生徒はクラスに何人くらいいるのか。具体的な事例なども大まかに知りたい。保護者会などで、保護者にも現状を具体的な形で伝えられれば、親の立場からしても安心できるのではないかと。（大屋委員）
→不登校は6月より減少している。不登校生徒は、校内まなびの教室を活用したり、リモート授業を行ったりして対応している。（校長）
 - ・「学校は楽しいか？」のアンケート結果のそう思わない（5%程）と回答した生徒の具体的なフォローはどのようになっているのか。（鈴木委員）
→月一回のアンケート（こころのけんこうチェック）を行い、生徒の変化を捉えている。また、いじめ対策委員会を週一で行い、情報交換をしながら、心の部分に寄り添い取り組んでいる。（校長）
→気になる生徒には担任を中心に聞き取りを行い、学校・学年でも対応している。HPには佐鳴台中学校いじめ防止基本方針も示されている。（生徒指導）
 - ・いじめ対応研修では決められたガイドラインに基づいて行われていると思うが、どういう状況になったら保護者に情報共有するのか。どのような基準か。（鈴木委員）
→相談や情報を得た場合、保護者と情報を共有して、同じことを繰り返さないようにしている。（生徒指導）

- ・年度初めにアウトラインを保護者に発信すれば、どういう時にどういふ対応をしているのかわかると思う。フローチャートを追加してもらえると分かりやすい。(鈴木委員)
 - いじめの認知やアンケート(こころのけんこうチェック)で気になることがあれば保護者に連絡している。何かあれば連絡することは必要不可欠なことである。保護者への連絡方法については佐鳴台中学校いじめ防止基本方針(HP)の中でも分かるようにしていくことは必要だと思う。(校長)
- (2) 前期学校生活アンケート結果についての検討
- (3) 全国学力・学習状況調査の結果について
- 前期学校生活アンケート結果について説明、引き続き全国学力・学習状況調査の結果についても説明(教務)
- ・保護者からの意見、学校行事に対してどのように望んでいるのか分かればこういった場でも協力ができるのではないか。(大屋委員)
 - マスクの装着問題や体操服の濁きが悪いなどの意見をもらっている。(教務)
 - マスクについては、熱中症の心配もあるため、外すように指導をしながら、個人の体調とあわせて進めている。(教務) 体操服については現在検討している。(生徒指導)
- (4) 外国につながる生徒の『放課後勉強会』の実施状況について
- 外国につながる生徒の『放課後勉強会』の実施状況について説明(教務)
- ・勉強会に協力いただけるボランティアの方がいれば紹介してほしい。(教務)
 - アイデアとして、生徒同士というのはありか。教える方も学力向上につながるし、高校生もやってくれれば輪が広がってよいのではないか。(鈴木委員)
 - 中学生でも進んでやってくれる生徒がいれば有り難い。(校長)
 - ・放課後勉強会のボランティアの方の基準は設けているのか。(鈴木委員)
 - 現在基準を設けているわけではないが、KSC(放課後勉強会ボランティア)は、HICEのボランティア養成講座を受け、いろいろな小中学校で勉強会を行っている。また佐鳴台小学校で10年以上の実績があり、ご紹介いただいたという経緯となる。(教務)
 - ・今後部活動がクラブ化してくるなど外部委託が増えてくると思うので学校に入る人を規制し、学校でもチェックできる体制があるといいと思う。保護者も心配。(高御堂委員)
 - 資質・能力もあるのでただボランティアでやりたいという人を入れていくという形にならない方がよいと思う。(大塚委員)
 - 現在市吹奏楽部の外部指導者に関しては教育委員会、校長の方でも面接をして実績も見ながら行っている。(校長)
 - この件は今後どのような形で行っていくか協議していく必要がある。(鈴木委員)
 - ・外国につながる生徒の指導・支援(生徒指導、進路指導等)については、次回の話し合いに入れていきたい。(校長)

1 2 報告

○夏休みの学力補充学習について

- ・楽しく一緒にやらせてもらった。もう少しボランティアが集まるといい。(中野委員)

○3年生の面接練習

- ・私立1月、公立2月で実施予定。後日、日程をお伝えするのでご協力いただきたい。(教務)

その他報告事項等

- ・学校運営協議会自己評価表を記入し、学校に提出いただきたい。(〆切11月10日)
- ・司会の教務から、次回会議は令和6年2月22日午後1時15分から佐鳴台中学校会議室で開催する旨の報告があった。
- ・実態把握調査を記入し、提出していただきたい。

学校関係者評価

<学校生活アンケートより>【全校生徒・保護者を対象にR5.7月と11月に実施】

- 生徒は「学校生活が楽しいですか」という質問に対して、92.2%（昨年度 92.7%）が「そう思う」「大体そう思う」と回答しています。保護者は「お子さんは、学校生活を楽しいと感じているようですか」という質問に対して、84, 5%（昨年度 83.5%）が「そう思う」「大体そう思う」と回答しています。

昨年とほぼ同じ水準で推移しており、「生徒がよりよい未来を創るために必要な資質・能力を育む」ことを基本方針として、本年度の活動の見直し、来年度の教育活動の改善を図っていきます。

【生徒】「学校生活が楽しい…」



【保護者】「学校生活を楽しいと…」



- 生徒は「先生は、勉強が分かるように教えてくださいませんか」「先生は、「知りたい」「やってみよう」「できるようにになりたい」と思うような授業をしてくれますか」という質問に対して、97, 4%（昨年度 95.0%）、93.8%（昨年度 93.2%）が「そう思う」「大体そう思う」と回答しています。

90%以上の生徒が、高評価を付けており、「複線型の学習を導入し、授業改善、学力向上を図っていく」ことを校内研修で継続しながら、授業改善を図っていきます。また昨年度の課題であった「タブレット端末が学びを支えるツールとして活用できる」ことは93.1%（昨年度 82.8%）と高評価であり、来年度も引き続き行内研修を図っていきます。

【生徒】「勉強が分かるように…」



【生徒】「「知りたい」「やってみよう」…」



- 生徒は、「勉強が分からない時には、先生が手助けをしてくれますか」「先生は、頑張っていることをほめてくれたり、困っているときに相談にのってくれたり、助けてくれますか」という質問に対して、95.9%（昨年度 94.6%）、97.4%（昨年度 93.6%）が「そう思う」「大体そう思う」と回答しています。

90%後半の高評価を生徒達が付けていることから、生徒達にとって先生方が日頃から近くに寄り添い、声掛けをしていることで90%後半の高評価につながっていると考えられるため、来年度も生徒達に日頃から近くに寄り添い、継続的に声を掛けるようにしていきます。また、教科相談の時間の充実を図ることや朝活動、帰りの会の声掛けや語り掛けを充実させていくことで生徒達が相談しやすい環境を整えていきます。

【生徒】「勉強が分からない時には…」



【生徒】「頑張っていることを…」



- 生徒は、「自分のクラスは楽しく、教室は安心できる場所ですか」という質問に対して、93.2%（昨年度 91.8%）が「そう思う」「大体そう思う」と回答しています。
前期より「そう思う+大体そう思う」約4%上昇（「そう思うは約10%上昇」）「人間関係プログラム」の継続や、「ピアサポート」の実施など計画的に人間関係トレーニングを進めてきたことで、安心感のある学級がつけられていると考えられる。また2大行事を行うことで、学級での人間関係が向上してきたと考えられ、来年度も適切な時期にピアサポートや人間関係トレーニングや行事を行っていき、人間関係を構築していきけるように年間計画を計画していきます。

【生徒】「自分のクラスは楽しく…」



全体として

- 生徒アンケートでは、ほとんどのアンケート項目で90%を超えており、概ね良好な結果が得られた。来年度の計画では生徒の活動を継続していきながら、向上させる方向性を考えていく。
- 生徒アンケートで、「地域の活動に積極的に取り組む」「将来に対する夢や希望をもっていますか」という質問では80%台であった。「地域の活動」への取り組みに関しては、前期よりも向上しているため、コロナウイルス感染症が5類に代わり、ボランティア活動が増えてきたことや、教師側からの地域ボランティア（佐鳴湖クリーン作戦や協働センター祭り、地域防災訓練）への呼びかけを行ったことで変化してきたと予想できます。来年度は、教師側からの呼びかけも地域ボランティアへの参加を促すとともに、市全体の図書館ボランティアや保育ボランティアなどのボランティアへの参加も積極的に参加を促し、地域貢献や心の教育を図っていきます。
「将来に対する夢や希望」についても、総合的な学習の時間の「佐鳴湖学習」「多文化共生・職業学習」「みらいの浜松」などを充実させていくことや、講話などを計画的に行っていくことでキャリア教育の充実を図り、生徒達が自己をみつめ、好きなこと、やりたいことが考えられる時間を増やしていくように年間計画を構築していきます。

<令和5年度の学校運営協議会より>

◇いじめ防止基本方針に基づく取組み

- ・ 気になる生徒や不登校生徒はクラスに何人くらいいるのか。具体的な事例なども大まかに知りたい。保護者会などで、保護者にも現状を具体的な形で伝えられれば、親の立場からしても安心できるのではないかと。
→ 不登校は6月よりも減少している。校内まなびの教室を活用したり、リモート授業を行ったりして対応している。
- ・ 学校生活アンケート「学校生活は楽しいですか」の結果で「そう思わない」と回答した生徒の具体的なフォローはどのようになっていますか。
→ 月一回のアンケート（こころのけんこうチェック）を行い、生徒の変化を捉えている。また、いじめ対策委員会を週一で行い、情報交換をしながら、心の部分に寄り添い取り組んでいる。また気になる生徒には担任を中心に聞き取りを行い、学校・学年でも対応している。
- ・ いじめ対応研修では決められたガイドラインに基づいて行われていると思うが、どういった状況になったら保護者に情報共有するのか。どのような基準か。
→ 相談や情報を得た場合、保護者と情報を共有して、同じことを繰り返さないようにしている。

- 来年度もいじめ防止基本方針に基づき取組みを継続し、生徒に寄り添った対応を心がけ、保護者と情報を共有していきます。

◇外国につながる生徒の『放課後勉強会』の実施状況について

- ・ 放課後勉強会のボランティアの方の基準は設けているのか。
→ 現在基準を設けているわけではないが、ボランティア養成講座を受け、いろいろな小中学校で勉強会を行い、佐鳴台小で10年以上勉強会を行っている団体の協力を得て行っている。

○

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(佐鳴台中)学校運営協議会長

<本年度の目標>

生徒及び地域の現状並びに学校の課題を捉え、特色ある学校づくりを学校経営目標に沿って推進し、情報を積極的に提供したり、自他共に学校支援への参画を促したりして、教育活動の改善を図っていく。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

学校運営基本方針の説明を受け、詳細な部分についても質疑応答があり、活発な意見交換が行われた。学校教育目標である「よりよい未来を創る生徒」を地域全体で育てるために、学力面のサポートやいじめ・不登校の現状把握等、様々な意見が交わされた。また授業参観や校内に掲示されている生徒の作品などを通じて、学校運営の実情を知ることができた。佐鳴台地区には、外国につながる生徒が多く、学校運営でも積極的に取り組んでいることが感じられた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

育てたい4つの力「つなぐ力」「みつめる力」「そうぞうする力」「見通す力」を念頭に地域ができる教育活動支援について熟議した。夏休み学力補充や3年生の面接練習には、協議会メンバーが主体となって関わり支援を行った。外国につながる生徒の生活面、学習面についての報告を受け、熟議を進めることもできた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

学校ホームページやブログ、PTAの話し合いの場等で情報発信を行った。PTA三役会にて協議会の協議について報告・話し合いが行われた。また学校からは、さくら連絡網を使って保護者への情報発信を行うことや、協働センターを通じて機関誌が地域へ回覧されている。年々、保護者からの関心は高まってきているが、地域全体へ理解が深まっていくには、まだ時間がかかると感じているため、今後も発信を継続していく。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

佐鳴台中学校の生徒のよりよい未来を望んでいる運営協議会の思いも含め、学校運営の基本方針を具現化できるよう、学力補充や地域との関わりを増やしていくなど、これまでの取組みをさらに広げていく。外国につながる生徒への対応はもちろん総合的な学習の時間(多文化共生、佐鳴湖学習、情報教育)などの充実に向けて地域と連携を進めていけるよう熟議していきたい。また部活動の支援等、手を付けられていない課題についても話し合いを進め、小学校と民生児童委員(地域支援団体)との連携も強めていきたい。(特に、外国籍に関わる生徒や就学援助家庭への地域支援体制について模索し、来年度、教育委員会にも働きかけを講じていく。)

(様式 1)

令和 5 年 6 月 1 6 日

浜松市立佐鳴台中学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 鈴木 秀昌 様

浜松市立佐鳴台中学校運営協議会
会長 栗田 高典

夢育やらまいか事業に対する意見書

令和 5 年 6 月 1 6 日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

- ①佐鳴台地区の身近な自然である佐鳴湖を取り上げた佐鳴湖学習は、本校の特色の一つである。佐鳴湖研究に造詣の深い関係者を講師として招き、生徒の学びを深めるための学習環境を提供することは必要なことと考える。
⇒佐鳴湖に関する課題を見付けて追究し佐鳴湖と関わる活動を継続したい。
- ②昭和 63 年度から継続して行われているエアロビクスは、佐鳴台中の伝統となっている。今年度は体育科授業で取り扱い、発表会の形も変えている。生徒が生き生きと取り組み、個人として、集団として大きく成長できるこの活動は、持続可能な方法で進めていきたい。
⇒より完成度の高い演技を発表するための専門的な指導は、エアロビクスの講師を招聘することで、活動の充実を図りたい。講師については、活動に見合った謝金を支払う必要がある。
- ③自分らしい生き方を考えるキャリア教育を充実させていきたい。
⇒多国籍の生徒や障害を持った人達と共に過ごすために、多様な在り方を相互に認め合い、自分自身の生き方について考えさせる講話をしていただく講師を招聘し、講演会を開催する。

(様式2)

令和 6年 3月 1日

浜松市教育委員会 教育総務課
学校・地域連携担当課長

浜松市立佐鳴台中学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 鈴木 秀昌

夢育やらまいか事業（CS加算分）報告書

夢育やらまいか事業のCS加算分の用途等について、下記のとおり報告します。

記

1 学校運営協議会からの意見

別紙「夢育やらまいか事業に対する意見書」のとおり

2 意見に基づき実施した活動等

No.	記号	事業内容	具体的活動内容
1	イ	学習の充実	・エアロビクスの専門的指導 ・エアロビクス発表の審査講評 ・佐鳴湖学習の充実
2	ス	生き方教育の充実	・共生教育講演会実施

3 活動に要した経費

夢育やらまいか事業収支決算書のとおり

※収支決算書の写しに意見書に基づいて支出した「記号・事業内容・用途・小計」に赤の下線を加筆してください。